



国際交流員ウィルペルトのコラム

世の中の幸せは馬の背にあり Das Glück der Erde liegt auf dem Rücken der Pferde (ダス グルック デア エア デリー クトゥ アウフ ディム リュッケン デア プフェア デ)



夏休みが近づいてきましたね！ドイツの子どもたちにとって、それは6週間の自由を意味します。夏休みの前に学年が終わるので、宿題などは一切ないです。ですが、大体の親は6週間も仕事を休めないで、その間ドイツの子どもたちがどうやって過ごすかについて書いてみたいのです。

親が夏に働かないといけなければ、子どもたちは親抜きでもバカンスに行くことができます。特に女の子に人気があるのは「Reiterferien (ライターフェリエン)・夏の乗馬キャンプ」です。



(c) Reizeit Eva Baumann

6歳以上の子どもたちが一週間から数週間の間、牧場で他のたくさんの子もたちと一緒に生活します。相部屋で寝て、食堂で一緒に食事をし、午前と午後に乗馬のレッスンを受たり、たまにレッスンの代わりに自然の中でホーストレッキングに行ったり、馬の世話の仕方(ブラッシング、馬房の掃除)を学んだりします。



牧場での滞在中、それぞれの子どもは自分自身の里馬を割り当てられます。その里馬は自分の友達となり、毎日会いに行ったり、おやつをあげたり、手入れをしたりすることができます。



その他にも、牧場の人たちがいろいろなアクティビティーを考えてくれます。Tシャツ染め、夜の焚き火、湖での水浴び、馬のブラッシング大会、バッジがもらえる乗馬試験、馬車でのお出かけなど、牧場で過ごす時間はとても楽しいです。

牧場は大体自然の中にあり、広い放牧場と畑と森に囲まれています。人が牧場に来ようとすると、牧場の門につながる唯一の道を車で通って来るしかないので、知らない人が来たらすぐに分かります。なので、子どもたちにとって素晴らしいことに、牧場内なら自由です。いつでもどこでも遊んでいいです。



もちろん、食事の時間は決まっているし、午前と午後にどの乗馬レッスンに参加するかも決められています。それらに時間通りに出るのは、それぞれの子の責任です。レッスンの30分ぐらい前には、自分のヘルメットやグローブ、ブラッシング用具などを用意し、馬房から馬を出します。馬にブラッシングし、鞍と頭絡をつけ、乗馬レッスンの開始時間までに、一緒にアリーナまで歩いて着かなければなりません。

ですが、食事とレッスンの間の時間は好きに過ごしていいし、周りに友達がいっぱいいるし、いつも誰かが何をして遊ぶかの提案を言い出します。例えば、里馬のたてがみを編み込んでおしゃべりにしたり、友達と一緒にレッスンに使われていないジャンプ場で馬抜きの障害飛越競技をしたり、上級のレッスンを見学したり、牧場の猫や犬と遊んだり、キオスクでお菓子を買ったりします。



馬は大きいし、温かいし、優しいし、ゆくりと揺れながら運んでくれるし、いっぱい良いところがあります。ドイツでは、14歳以上の人の約300万人が乗馬をしています。乗馬クラブに登録している成人のうち78%が女性、18歳までに限ったら、91%が女子です。1980年代から「Pferdemädchen (プフェアデーメーチェン)・馬女子」と呼ばれる社会現象まで起こったほど、馬はドイツの女の子に人気があります。乗馬そのものだけでなく、馬女子向けの牧場を舞台にしたコミック、雑誌、本のシリーズ、ラジオ・テレビドラマ、映画などがあり、家でも楽しめる馬女子の世界が存在します。

馬の背中の上でだけ味わえる素晴らしい気分、牧場だけにある友情と、友達と楽しく過ごした時間を、どこでも思い出させてくれるのです。